

整理No. 2017-4		労働災害状況調査表			
災害発生場所		A4工場			
災害発生日時		2017年 2月 17日(月) 10時 10分 天候(雨時々曇り) 温度(11℃)湿度(81%)			
災害区分		不休災害		休業災害 (休業:12日)	重大ヒヤリ
被災者	部門	第1製造課		雇用形態 正社員、派遣、契約、その他()	
	年齢	64歳	性別: (男) 女	勤続年数 49年11ヶ月	経験年数 49年11ヶ月
	傷病名	病名 (右手首骨折、額切創)			
	傷病部位	右手、額			
災害発生状況	天井部のタンクから送液するため、タンクの底弁を開けようとした。 タンク底弁は、エアーバルブ式で高所にあるため、操作スイッチは別の場所(床から1m程の高さ)にあり、操作して開けたつもりでいた。 しかし、タンク下で底弁を確認すると開いておらず、底弁が詰まったと思い、脚立(高さ1m、手摺なし)を持ってきてその天板に一人で上がり、手動で力を加えて開けようとした。 しかし、操作スイッチで底弁を開けたつもりでいたが、実際には開いてなかったにもかかわらず、なかなか開かないと思い込み、力を加えて揺すっていたいたところ、バランスが崩れて脚立ごと倒れ地面へ落下した。		状況概略(写真orイラスト)		
					
	災害の型 ^{※1)} 4		作業の形態: 定常、非定常、その他()		
	起因物: 操作スイッチ、脚立		特記事項		
原因分類	1. 人的要因(man)・・・不安定な脚立上での作業。危険に対する意識が低かった。思い込み。				
	2. 物に関する要因(machine)・操作スイッチが高所にある。・手摺のない不安定な脚立を使用した。 ・底弁が詰まった際には、力を加えて直接操作する必要があった。				
	3. 環境要因(media)				
	4. 管理的要因(management)・高所作業を2m以上としていたが、それ以下の高さの作業の基準がなかった。 ・底弁詰まり時の対処法は、踏み台、脚立で昇降していた。				
対策	・不安定な脚立の回収、使用禁止措置。				
	・非定常作業手順書での運用を必ず実施する。(2人作業)				
	・昇降しないで操作できるハンドルを導入する。				
備考	・脚立を使用する作業を洗い出し、作業方法の見直し、禁止行為を定める。				
	・リスクアセスメントの実施、指差呼称実施により思い込みをなくす。				
対策分類 ^{※2)} : 1-3、1-4、1-6、2-4		類似箇所の摘出:			

※1) ①から選択

※2) ②から選択(複数可)